

典札のついで

0 Domingo N.º 50

PANIB 発行 30 - 11 - 2025

待降節 第一主日（A年）

希望の巡礼者であるこの機会に、私達は喜びと平和のうちにこの新しい典札年の始まりを祝うためにここに集っています。待降節は警戒とともに、より深い祈りの時です。この聖年の最終段階にあたり、主の光に導かれ、私たちの間に存在する神の国のしるしに、注意深く、歩んでいきましょう。

入祭唱

神よ、わたしは心をこめてあなたを仰ぐ。わたしの神よ、あなたに寄り頼む。はむかう者が勝ち誇り、わたしが恥を受けないように。あなたを呼び求める者は誉れを受け、あなたに背く者は打ち負かされる。

集会祈願

全能の、神である父よ、救い主を待ち望む心と呼びさましてください。わたしたちがキリストを日々の生活

のうちに迎え、キリストと結ばれて、永遠の国を受け継ぐことが出来ますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

※ 朗読の解説

イエズスは民とすべての善意を行う人々のために新しい時代を保障するために来ます。しかし、私たちはいつも御言葉に強められ、信仰を監視し続けなければなりません。

第一朗読

イザヤの預言（2・ 1―5）

アモツの子イザヤが、ユダとエルサレムについて幻に見たこと。終わりの日に主の神殿の山は、山々の頭として堅く立ち、どの峰よりも高くそびえる。国々はこぞって大河のようにそこに向かい多くの民が来て言う。

「主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。主はわたしたちに道を示される。わたしたちはその道を歩もう」と。

主しゅの教おしえはシオンから
御言みことば葉ははエルサレムから出でる。
主しゅは国くに々くにの争あらそいを裁さき、多おほくの民たみを戒いましめられる。
彼かれらは剣けんを打うち直なおして鋤すきとし
槍やりを打うち直なおして鎌かまとする。
国くには国くにに向むかつて剣けんを上げず
もはや戦たたかうことを学まなばない。
ヤコブの家いえよ、主しゅの光ひかりの中なかを歩あゆもう。

答唱詩編（詩編122）

全 わたしたちは神かみの民たみ、そのまきばの群むれ。

「神かみの家いえに行いこう」と言いわれて、

わたしの心こころは喜よろこびにはずんだ。

エルサレムよ、わたしたちは今いま、

おまえの門もんのうちに立たっている。

全 わたしたちは神かみの民たみ、そのまきばの群むれ。

しげく連つらなる町まち、エルサレム、

すべての民たみの都みやこ。

そこにはイスラエルの部族ぶぞく、

神かみの民たみがのぼつて来る。

全 わたしたちは神かみの民たみ、そのまきばの群むれ。

わたしの兄弟きょうだい、わたしの友とものために、

「エルサレムに平和。」

わたしたちの神かみの住すまいのゆえに、

エルサレムの上うへに恵めぐみを願ねがおう。

全 わたしたちは神かみの民たみ、そのまきばの群むれ。

第二朗読

使徒しとパウロのローマの教会への手紙（ローマ13・11—

14a）

「皆さん、」あなたがたは今いまがどんな時ときであるかを知しっています。あなたがたが眠ねむりから覚さめるべき時ときが既にすでに來きています。今いまや、わたしたちが信仰しんこうに入はいったころよりも、救すくいは近ちかづいているからです。夜よは更ふけ、日ひは近ちかづいた。だから、闇やみの行いいを脱ぬぎ捨てて、光ひかりの武ぶ具ぐを身みに着きけましょう。日ひ中にちゆうを歩あゆむように、品ひん位いをもつて歩あゆもうではありませんか。酒宴しゅえんと酩酊めいてい、淫乱いんらんと好色こうしよく、争あらそいとねたみを捨て、主しゅイエス・キリストを身みにま

いなさい。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

主よ、あなたのいつくしみを示し、救いをお与えください。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

福音朗読

マタイによる福音（マタイ 24・37―44）

「そのとき、イエスは弟子たちに言われた。」「人の子が来るのは、ノアの時と同じである。洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとつたり嫁いだりしていた。そして、洪水が襲って来て一人残らずさうまで、何も気がつかなかった。人の子が来る場合も、このようである。そのとき、畑に二人の男がいれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。二人の女が臼をひいていれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。このこ

とをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に押し入らせはしないだろう。だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、常に私たちの必要に心を配ってくださる主に祈り求めましょう。

全・主よ、遅れることなく来てください。

1. 「主の山に登ろう」主よ、貴方の光に導かれて歩む教会を助け、何時も進むべき方向を示してください。

全・主よ、遅れることなく来てください。

2. 「洪水が襲い、すべてを流し去った」主よ、あなたの信徒に絶えず警戒する心をお与えください。貴方の言葉に耳を傾けない人々に回心の恵みをお与えください。

全・主よ、遅れることなく来てください。

3・彼らは剣をすきに変え、暴力と攻撃の文化を、

平和と出会いの社会へと変えていくことができますように、主に祈りましょう。

全・主よ、遅れることなく来てください。

4. 「救いは近い」世界に貴方の国の存在を告知せしめる印の種を、認識することが出来るよう導いてください。

全・主よ、遅れることなく来てください。

司・父なる神よ、どうか私たちがこの世の不正義に無関心にならないようにし、私たち達に平和をもたらしために来られたキリストに、私たちの心の眼を向けさせてくださいますように、世々に生き支配してくださいる主イエズス・キリストによって。

全・アーメン

奉納祈願

万物の造り主である神よ、この供えものを受け入れてください。わたしたちのものは皆、あなたからいただいたものです。今、感謝をこめてささげる供えものが、永遠のいのちの糧となりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願

恵み豊かな神よ、いのちの糧を受けたわたしたちを強めてください。地上を旅する教会が、いつも変わらぬものを求めて生きることが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。